

令和 2 年度 第 7 回丸亀城石垣崩落対策本部会議録

1 開催日時 令和 2 年 1 0 月 6 日（火）午前 1 0 時 2 0 分～午前 1 0 時 3 0 分

2 開催場所 本館 3 階特別会議室

3 議 事

(1)丸亀城石垣崩落復旧整備事業の全体工程表

- ・三の丸石垣解体工、石材調査の工期が 8 月に終了する予定だったが、6 ヶ月遅れているので、その後の工事が 6 ヶ月ずつ遅れる。
- ・三の丸石垣復旧工は令和 5 年度末で終わる予定から 6 ヶ月遅れると思われるが、令和 5 年度末の完成を目指して頑張るということで、令和 5 年度末までの全体工程表にしている。
- ・崩落メカニズム解析業務は鹿島建設に業務委託し、文化財保存活用課と協議して進め、中間報告を受けている。市民説明会開催時は崩落メカニズム解析が主になると思う。不確定な要素が含まれるので、中間報告の形で市民説明会を開催するのか、全てが判明した段階で開催するのか、課内で検討している。

(2)埋没石垣の公開展示について

- ・三の丸斜面で山崎時代に崩落したと思われる石垣が見つかった。文献から位置的にも崩れた石垣であると思われる。三段目まで解体した埋没石垣 1 を P R 館隣接地で展示公開できるように準備を進めている。クラックの除去に伴い土中の埋没石垣をやむなく解体したもので、一般見学ができるように、10 月 19 日から展示公開する予定にしている。報道にも投げ込みを行い、積極的に P R 館に来館してもらえるようにしたい。
- ・ P R 館では 12 の隅櫓などを C G で復元した「よみがえる丸亀城」 V R が体験できるコーナーを設けるなど、 P R 館に足を運んでもらえる取組みも進めている。

→ P R 館には 1 日何人くらい来館があるのか。（副市長）

- ・平日で 20～30 人程度、土日で多い時には 100 人を超える。産業観光課と連携して修学旅行先に勧める話もある。（文化財保存活用課長）

→今までの経緯で市民説明会はできないのか。全てが判明してからの開催では随分先になる。（市長）

- ・全てが判明してからとなると、帯曲輪石垣の解体が終わってからになるので、来年の夏になる。本来は毎年開催することとしていたので、できれば年内、又は年度内に開

催したいと思っている。前回のように会議室で行うのではなく、現場で説明する方が市民の理解も深まるので、現場説明会兼崩落メカニズム説明という内容にしたいと思っている。（文化財保存課長）

→崩落の情報でアニメーションは作成できないのか。データを渡してポリテクの先生に作成してもらうのはどうか。簡単なアニメーションで構わない。（市長）

・鹿島建設と協議して指示する。（丸亀城管理室長）

4 出席状況

(1) 本部構成者（第3条）

職	氏 名	出欠
市 長	梶 正 治	○
副 市 長	徳 田 善 紀	○
教 育 長	金 丸 眞 明	×
モーターボート 競走事業管理者	大 林 論	○
市 長 公 室 長	横 田 拓 也	×
総 務 部 長	栗 山 佳 子	○
健康福祉部長	宮 本 克 之	代
市民生活部長	小 山 隆 史	○
都市整備部長	吉 本 博 之	○
産業文化部長	山 地 幸 夫	○
ボートレース 事 業 局 次 長	矢 野 浩 三	○
教 育 部 長	石 井 克 範	○
消 防 長	田 中 道 久	○
議会事務局長	渡 辺 研 介	○

(2) 関係職員

健康福祉部長代理	永 森 かず代
市長公室職員課長	井 上 孝 敏
市長公室秘書政策課長	窪 田 徹 也
市長公室秘書政策副課長	谷 本 智 子
市長公室秘書政策課製作推進担当長	宇 野 大志郎
総務部財務課長	宮 西 浩 二

(3) 事務局

教育部文化財保存活用課長	七 座 武 史
教育部文化財保存活用課丸亀城管理室長	上 甲 育 司
教育部文化財保存活用課丸亀城管理室総括担当長	阪 本 晃 弘